

付属資料：調査票

令和5年度 県民意識調査

令和5年5月

◇ 調査へのご協力をお願い

この調査は、県政運営の指針である「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」に関する取組について、県民の皆様の満足度やご意見等を伺い、各種政策の立案や政策評価等に反映させることを目的としています。

お忙しいところお手数をお掛けしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

◇ 調査対象者

県内在住の18歳以上の男女5,000人を、選挙人名簿から無作為に抽出しています。

◇ 回答に当たってのお願い

- この調査には、宛名のご本人がお答えください。
※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答や連絡は不要ですので、封筒及び調査票は破棄していただいて構いません。
- ボールペンや鉛筆等で記入してください。
- 回答を一つだけ選ぶ質問と、複数選ぶ質問があります。

この調査票を三つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

6月2日(金)までに投函してください。

なお、返信用封筒に住所、氏名等の記入は不要です。

※返信用封筒の宛先は、秋田県が調査を委託した「株式会社フィデア情報総研」となっております。



- 左下のQRコードまたは「秋田県 電子申請・届出サービス」(https://s-kantan.jp/pref-akita-u/offer/offerList_initDisplay.action)から、パソコン、スマートフォン、タブレット等を利用したインターネット回答が可能です。
※インターネット回答の場合は、調査票の返送は不要です。

◇ 調査票の取扱い

- 調査結果は全て統計的に処理しますので、回答内容について個人が特定されることはありません。電子回答IDは、重複回答を防止するために付しているものであり、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。



【問い合わせ先】

◇この調査に関する質問等は、以下までお問い合わせください。

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県企画振興部 総合政策課 計画・評価チーム

電話：018(860)1217(直通)

FAX：018(860)3873

メール：seisaku@pref.akita.lg.jp

電子回答IDは「県民意識調査のご協力をお願い」文書の左下に記載

問1-1 県では、『～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン』（※）に基づき、様々な取組を進めています。次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」～「1」の5段階から選んでお答えください。

また、お答えが「2」または「1」の場合は、よろしければその理由や、県が取り組むべきだと思ふことについて、お聞かせください。

※『～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン』とは、令和4年度からの4年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の指針です。

産業・雇用戦略に関する項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
↓	↓	↓	↓	↓	↓
5	4	3	2	1	N
1	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。				
[自由記述]「不十分」または「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思ふことについて、具体的にお聞かせください。					
2	輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。				
[自由記述]					
3	地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。				
[自由記述]					
4	立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。				
[自由記述]					

産業の振興に関する取組の状況

1 産業構造の変化に対応した

県内産業の競争力の強化

- ・新分野進出、規模拡大による生産性及び賃金水準の向上や事業継続を図るため、中小企業のM&Aや事業承継（第三者承継）などを促進
- ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進に向けて、IoTやAI等のデジタル技術の普及啓発を行うとともに、その導入を促進
- ・地域経済を牽引するリーディングカンパニー創出に向けて企業の取組を支援
- ・企業の海外展開に向けた活動経費を支援
- ・県技術専門校などにおける職業訓練の実施などにより、在職者の学び直しを支援



生産工程のスマート化に向けた研究開発

◎M&A成約企業数

24件（R2）⇒28件（R3）

◎技術専門校における在職者訓練の受講者数

489人（R2）⇒470人（R3）

3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

- ・伝統的工芸品の販路開拓や付加価値の高い新商品開発の取組を支援
- ・商業・サービス業者等の業態転換、新分野進出、新商品・新サービスの開発等の取組を支援
- ・建設産業の持続的な発展に向け、人材確保や業界全体のイメージアップなど総合的な支援を実施
- ・リサイクル施設の整備や研究開発支援等により、リサイクル産業の創出・育成を促進



秋田県中小企業
応援キャラクター
「がんばっけさん」

◎商業事業者の販売額

3,453億円（R2）⇒3,414億円（R3）

◎ICT活用工事の実施件数

28件（R2）⇒41件（R3）

2 地域資源を生かした成長産業の発展

- ・輸送機産業の電動化等に対応するため、人材開発や研究開発、設備導入等を支援
- ・本県の多様で豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、新エネルギー関連産業への県内企業の参入等を促進
- ・県内情報関連産業を牽引する企業の創出に向け、県内ICT企業の成長戦略に基づく取組を支援
- ・医療機関のニーズに沿った新製品の開発や医療福祉関連産業への県内企業の参入を促進



提供：秋田洋上風力発電(株)
能代港洋上風力発電所(能代市)

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額

1,212億円（R2）⇒1,392億円（R3）

◎風力発電設備の導入量(累積)

648,549kW（R2）⇒794,619kW（R4）

4 産業振興を支える投資の拡大

- ・積極的な誘致活動等により、成長産業の企業や若者定着の受け皿として期待される企業を誘致
- ・洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備を推進



大手製材会社進出の能代工業団地

◎企業の誘致件数及び誘致済企業等による施設・設備の拡充件数

25件（R2）⇒31件（R3）

◎洋上風力発電における港湾の利用件数(累積)

2件（R2）⇒2件（R4）

農林水産戦略に関する項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」または「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
[自由記述]					
[自由記述]					
[自由記述]					

5	経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。
6	「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。
7	蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。
8	農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。

農林水産業の振興に関する取組の状況

5 農業の食料供給力の強化

- ・ 農業経営の法人化や生産規模の拡大を目指す意欲的な経営体を育成
- ・ 県外からの移住者や新規学卒者・Uターン者など、多様なルートと幅広い年代からの新規就業者を確保・育成

◎農業法人数(認定農業者)

788 法人 (R2) ⇒ 816 法人 (R3)

◎新規就農者数

252 人 (R2) ⇒ 265 人 (R3)

- ・ 効率的な生産体制の確立に向けたスマート農業の普及拡大や、持続性が高い環境保全型農業の取組拡大を推進
- ・ 水田の大区画化や排水対策を図るほ場整備を実施

◎環境保全型農業の取組面積

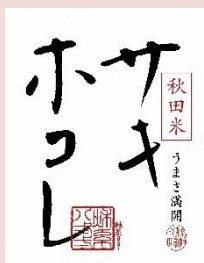
4,204ha (R2) ⇒ 4,475ha (R3)

◎ほ場整備面積(累積)

90,981ha (R2) ⇒ 91,743ha (R3)



地域農業の担い手たち



R4にデビューした「サキホコレ」

- ・ 園芸メガ団地や大規模な畜産団地を整備
- ・ 「えだまめ」や「しいたけ」など、全国トップクラスとなる園芸品目の産地づくりを支援
- ・ 「秋田牛」や「比内地鶏」のブランド力強化に向けた取組を推進

◎メガ団地等大規模園芸拠点の整備数(累積)

41 地区 (R2) ⇒ 50 地区 (R3)

◎秋田牛の出荷頭数

2,844 頭 (R2) ⇒ 2,951 (R3)

- ・ 「サキホコレ」のブランド確立をはじめとした秋田米の戦略的な生産・販売の推進

◎サキホコレの作付面積 80ha (R3) ⇒ 733ha (R4)

- ・ 国内外に通用するトップブランド農産物の創出
- ・ 台湾・タイへの秋田牛やリンゴの輸出を促進
- ・ 6次産業化による県産農産物の付加価値の向上

◎農産物の輸出額

2.9 億円 (R2) ⇒ 3.5 億円 (R3)

6 林業・木材産業の成長産業化

- ・ 資源の循環利用を図るため、低コスト再造林を推進
- ・ 林内路網の整備や高性能な林業機械の導入などにより、低コストな素材供給体制づくりを促進
- ・ 住宅や非住宅建築物への県産材利用と輸出の促進

◎再造林面積

332ha (R2)

⇒ 394ha (R3)

◎素材生産量(燃料用含む)

1,425 千³m (R2)

⇒ 1,508 千³m (R3)



再造林の植栽作業

7 水産業の持続的な発展

- ・ 漁業体験や技術習得研修の実施による新規就業者の確保・育成
- ・ トラフグ等の種苗放流やサーモン等の蓄養殖の取組を推進
- ・ 加工品の開発や漁師直売・オンライン販売の取組を支援



直売に取り組む若手漁業者

◎新規漁業就業者数(60歳未満)

10 人 (R2) ⇒ 12 人 (R3)

◎蓄養殖等に取り組む漁業経営体数(累積)

17 経営体 (R2) ⇒ 33 経営体 (R3)

8 農山漁村の活性化

- ・ 農山漁村にリモートワークなどで自分の仕事を持ち込み、農林漁業を組み合わせた新たな兼業スタイル「半農半X」の取組を促進
- ・ 農山漁村での都市住民との交流活動や農家民宿・レストランの起業等の取組を促進

- ・ 草刈りや植樹など地域住民による農地、森林を守る活動を促進

◎農村関係人口

6,518 人 (R2)

⇒ 8,232 人 (R3)

◎農地保全活動面積

101,908ha (R2)

⇒ 103,037ha (R3)



古民家を改修した農家民宿

観光・交流戦略に関する項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	お お む ね 十分	ふ つ う	や や 不 十分	不 十分	わ か ら な い
↓	↓	↓	↓	↓	↓

9	秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。
10	食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。
11	国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。
12	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。
13	国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」または「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

観光・文化・スポーツの振興に関する取組の状況

9 「何度でも訪れたいあきた」の創出

- ・県内を目的地とする旅行商品等への割引を実施するとともに、土産物店等で使用できる地域限定クーポン券を発行
- ・食や文化、スポーツを始め、地域資源を活用した秋田ならではの魅力を国内外に発信
- ・宿泊施設における客室の高質化など、観光客の旅の満足度の向上に向けた受入環境の充実を支援



秋田県公式観光サイト
【アキタファン】

◎観光地点等入込客数(延べ人数)

1,836 万人 (R2) ⇒ 1,873 万 8 千人 (R3)

10 「美酒・美食のあきた」の創造

- ・日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化を促進
- ・食品事業者の競争力強化を支援
- ・国内外への販路拡大に向けた商談会等の実施



シアル・パリへの出展

◎加工食品・日本酒の輸出金額

6 億 6800 万円 (R2) ⇒ 11 億 5,700 万円 (R3)

11 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

- ・伝統芸能をはじめとする多彩な文化事業の実施や、オンラインを活用した映像配信などにより、秋田ならではの文化の魅力を国内外に発信
- ・青少年音楽コンクールやあきたの文芸など若者から高齢者まで多くの県民が楽しめる文化事業を実施
- ・地域で活動する文化団体の活動を支援

- ・本県文化の中核拠点となる「あきた芸術劇場ミルハス」のグランドオープン(令和4年9月)



あきた芸術劇場ミルハス

◎文化事業への来場者数

5 万 4,435 人 (R2) ⇒ 6 万 9,947 人 (R3)

12 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

- ・ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制を確立
- ・ノーザンハピネッツやブラウブリッツ、ノーザンプレッツの活動を支援
- ・スポーツ合宿やトップスポーツ大会の開催支援により交流人口を拡大
- ・新県立体育館の整備に向けて基礎調査を実施し、基本計画づくりに着手



現在の県立体育館

◎成人の週1回以上のスポーツ実施率

58.5% (R2) ⇒ 51.1% (R4)

13 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

- ・日本海沿岸東北自動車道「遊佐象潟道路」、「二ツ井今泉道路」及び東北中央自動車道「横堀道路」、「真室川雄勝道路」の整備を促進
- ・重要港湾秋田港と秋田自動車道秋田北 IC を結ぶ「秋田港アクセス道路」の事業を推進

◎県内高速道路の供用率

92% (R2) ⇒ 92% (R3)

- ・羽田発着枠政策コンテストによる大館能代空港の3往復運航が実現
- ・秋田新幹線新仙岩トンネルについて、JR 東日本の調査への協力や国への積極的な要望活動等を実施し、実現に向けた取組を推進



国内定期便(大館能代空港)

- ・国や市町村と連携し、乗合バスや三セク鉄道の着実な運行を確保

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員数(自動車を除く)

136 万 8 千人 (R2) ⇒ 177 万 3 千人 (R3)

未来創造・地域社会戦略に関する項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」または「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
[自由記述]					
[自由記述]					
[自由記述]					
[自由記述]					
[自由記述]					
[自由記述]					

14	秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。
15	結婚し、安心して出産・子育てができる社会になっている。
16	女性や若者が様々な分野において、その能力や個性を發揮して活躍している。
17	優しさと多様性に満ちた秋田において、協働等を通じて安心して生活できる地域社会となっている。
18	地域住民、事業者、行政等と一緒に、地球温暖化対策に取り組んでいる。
19	デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。

若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

14 新たな人の流れの創出

- ・県内企業の魅力に触れることができる高校生向けの職場見学や企業ガイダンス、大学生等向けの合同企業説明会などのマッチングイベントを開催
- ・県内就職への意識醸成を図るため、高校生や県内外の大学生等、保護者に対し、情報誌やWebにより秋田暮らしの魅力を発信したほか、県内就職者への経済的支援として奨学金返還に対する助成を実施
- ・市町村等と連携し、移住相談や、あきたまるごとAターンフェアを開催し、「暮らし」と「仕事」の情報を総合的に提供
- ・リモートワークによる移住とワーケーションを促進



移住・定住総合ポータルサイト
(<https://www.a-iju.jp>)

◎Aターン就職者数

1,120人 (R2) ⇒ 1,183人 (R3)

16 女性・若者が活躍できる社会の実現

- ・女性自身の意識改革に加え、企業経営者の理解促進のための啓発や、女性の地域活動への参画拡大に向けた気運の醸成
- ・「あきた女性活躍・両立支援センター」による普及啓発や相談対応、一般事業主行動計画策定等の指導・助言、アドバイザー派遣等の企業支援

◎民間事業所の女性管理職割合(課長相当職以上)

19.3% (R2) ⇒ 20.7% (R3)

◎民間事業所における男性の育児休業取得率

10.7% (R2) ⇒ 14.8% (R3)

18 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

- ・県や9市町村におけるカーボンニュートラル宣言、脱炭素先行地域2件採択、省エネ家電購入支援、事業者省エネ診断など、温暖化対策を推進
- ・エコフェス、ハピネットのゼロカーボンゲームを開催
- ・コーヒー店割引等によるマイボトル持参運動、コンビニやスーパーでの「たまえどり」の啓発
- ・食品廃棄物や廃プラスチックに係る資源循環モデルの実証試験に向けた協議会を設置

◎温室効果ガス排出抑制計画書の目標達成事業者の割合

79.3% (R2) ⇒ 81.3% (R3)

◎廃棄物の最終処分量(公共関与分)

94千t (R2) ⇒ 90千t (R3)

15 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

- ・あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する独身者をサポート
- ・市町村が地域の実情やニーズに応じて行う子ども・子育て支援事業に対して支援
- ・保育料や副食費への助成など、子育て世帯への経済的支援



園庭で楽しく遊ぶ園児たち

◎婚姻件数

2,686組 (R2) ⇒ 2,618組 (R3)

◎出生数

4,499人 (R2) ⇒ 4,335人 (R3)

17 変革する時代に対応した地域社会の構築

- ・集落機能を維持するため、複数集落単位で地域の将来をデザインする「コミュニティ生活圏」の形成を支援



地域の将来についての検討会

- ・地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合

57.3% (R2) ⇒ 54.4% (R3)

19 行政サービスの向上

- ・県民の利便性向上のため、電子申請・届出サービス等を用いた行政手続のオンライン化を推進
- ・県民や企業等が二次利用しやすい形式(エクセル等)によるデータ公開を進めるためオープンデータカタログサイトを新たに構築

◎行政手続の電子化率

59.6% (R3) ⇒ 68.8% (R4)

◎オープンデータ化した県有データ数

87件 (R2) ⇒ 103件 (R3)

健康・医療・福祉戦略に関する項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
↓	↓	↓	↓	↓	↓

20 県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」または「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					

21 どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

22 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

23 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

健康づくりや医療・福祉の充実に関する取組の状況

20 健康寿命日本一の実現

- ・市町村や経済団体、保健医療団体、報道機関など、多様な主体と連携した健康づくり県民運動を推進



あきた健康応援大使とあきた健康チャレンジ大使による健康づくりに関する情報発信

- ・「秋田スタイル健康な食事」メニュー認証制度や「新・減塩音頭」の普及啓発により、「減塩」や「野菜・果物摂取」を推進



新・減塩音頭

- ・アプリを活用した企業対抗型ウォーキングイベントを開催し、働き盛り世代における運動習慣の定着化を促進
- ・スーパー、コンビニなどの協力による、店舗敷地内の喫煙所を撤去するキャンペーンなどにより受動喫煙の防止を推進
- ・ICTを活用した健（検）診予約システムの導入等により、健（検）診を受診しやすい環境を整備

◎健康寿命

男性 71.21 年、女性 74.53 年 (H28)
⇒ 男性 72.61 年、女性 76.00 年 (R1)

22 高齢者と障害者の

暮らしを支える体制の強化

- ・介護職員の処遇改善や人材育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及を推進
- ・市町村のひきこもり相談窓口機能を強化するモデル事業の実施など、ひきこもり当事者の身近な地域における相談支援体制の整備を促進

◎介護施設等の介護職員数

23,282 人 (R2) ⇒ 23,105 人 (R3)

21 安心で質の高い医療の提供

- ・県北地区への地域救命救急センター整備に向けた支援
- ・がん診療連携拠点病院等を中心とした、がん診療提供体制を強化
- ・脳卒中等の急性疾患発生時に、専門医が不在の地域でも迅速で正確な診断が受けられるよう、病院間の急性期診療ネットワーク整備を支援
- ・医療のデジタル化に向けたオンライン診療モデルの実証を支援

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率 34.7 (R2) ⇒ 35.6 (R3)

◎がんによる人口 10 万人当たり 75 歳未満年齢調整死亡率 76.8 (R2) ⇒ 77.2 (R3)

23 誰もが安全・安心を実感できる

地域共生社会の実現

- ・民・学・官・報の連携による自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発活動を推進
- ・県立高校での SOS の出し方講座、教職員の SOS の受け方研修会などを実施
- ・若者を中心に多くの県民が利用している SNS による相談体制を整備

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率

18.0 (R2) ⇒ 18.8 (R3)

- ・子どもの貧困対策に取り組む支援者によるネットワークの拡充と県民の理解促進
- ・児童虐待を行った保護者等へのカウンセリングや、「秋田県児童虐待防止宣言」の策定など、児童虐待防止についての取組を強化

- ・里親制度の普及啓発から、里親の育成、養育開始後のサポートまでを包括的に支援する体制を整備し、里親委託を促進



秋田県里親PRキャラクター

◎里親委託率

17.6% (R2) ⇒ 24.2% (R3)

教育・人づくり戦略に関する項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
5	4	3	2	1	N
↓	↓	↓	↓	↓	↓
5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」または「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

24	学校教育を通じて、ふるさとを愛し社会で活躍しようとする心が育まれている。
25	学校教育を通じて、ICTを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。
26	学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。
27	学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。
28	県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。
29	県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

教育・人づくりに関する取組の状況

24 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

- ・起業体験やボランティア活動など、地域の活性化に貢献する体験活動や地域の伝統を受け継ぐ活動を推進
- ・県立高校などに就職支援員や職場定着支援員などを配置し、就職支援、県内就職の促進、職場への定着支援などの取組を実施



産業教育フェアでの販売体験

◎高校生の県内就職率

72.5% (R2)

⇒ 75.4% (R4)

26 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ・英語コミュニケーション能力の育成に向け、外国語指導助手や外部試験を活用
- ・小学校3年生から高校3年生までを対象に県内各地でイングリッシュキャンプを開催



イングリッシュキャンプ

◎英検3級相当以上の英語力を有する

中学3年生の割合

39.1% (R1) ⇒ 44.4% (R4)

28 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

- ・各大学等の多様な資源を活用し、地域社会や産業の課題解決に向けた取組を推進
- ・高校教育と大学教育の連携など学生の確保に向けた多様な取組を推進

◎県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究・受託事業数

144件 (R2) ⇒ 143件 (R3)

◎県内高卒者の県内大学・短大・専修学校等への進学率

33.7% (R2) ⇒ 35.6% (R4)

25 確かな学力の育成

- ・主体的に問題発見・解決する「探究型授業」の充実を図るため、学校訪問等により授業改善を推進
- ・少人数学習によるきめ細かな教育や社会人等外部人材の活用による専門性の高い教育を展開
- ・学校と地域の協働活動を推進する人材の育成や、地域と連携した安全教育活動を展開
- ・ICT活用による質の高い学びの推進及び教職員のICT活用指導力向上を図るための研修を実施

◎学んだことを振り返って次の学習に

つなげることができる児童生徒の割合(小6・中3)

86.5% (R3) ⇒ 85.8% (R4)

27 豊かな心と健やかな体の育成

- ・スクールカウンセラー等の専門家の配置により教育相談体制を充実
- ・地域人材を活用し、授業の充実を図るとともに部活動を支援



地域人材を活用した体育授業

◎自分にはよいところがあると思っている

児童生徒の割合(小6・中3)

86.0% (R1) ⇒ 84.7% (R4)

◎運動やスポーツをすることが好きな

児童生徒の割合(小5・中2)

65.9% (R1) ⇒ 63.0% (R4)

29 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

- ・県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実に向けた支援
- ・本県の優れた文化芸術を発信し、鑑賞・創作体験等の機会を提供



中高生を対象とした読書イベント

- ・地域の歴史・文化を生かしたまちづくりに向け、文化財の総合的な保存・活用の方針などを示した「秋田県文化財保存活用大綱」を策定

◎県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者数

169,596人 (R2) ⇒ 236,539人 (R3)

問1-2 県では、人口減少問題を克服し、多くの人を惹きつける秋田の実現に向け取り組んでいます。次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」～「1」の5段階から選んでお答えください。

		あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
		↓	↓	↓	↓	↓	↓
1	県内の「賃金水準が向上」している。	5	4	3	2	1	N
2	「カーボンニュートラル(※)」の実現に向けた取組が進んでいる。 ※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	5	4	3	2	1	N
3	県民生活の様々な場面において、「デジタル化」が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
4	「若年女性の県内定着・回帰」が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
5	「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。	5	4	3	2	1	N

問2 県の重要課題について、お伺いします。

今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。下から5つまで選択して番号を記入してください。

--	--	--	--	--

◆産業の振興

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 経営規模拡大や賃上げの取組への支援 | 26 若者のチャレンジへの支援 |
| 2 県内企業のデジタル技術の活用促進 | 27 多様性が認められ、安心して生活できる地域コミュニティの維持 |
| 3 地域経済をけん引する企業の創出・育成 | 28 温暖化防止活動やリサイクル等の推進 |
| 4 柔軟な働き方の導入や学び直しの支援による人材確保・育成 | 29 充実した行政サービスを提供できる効率的な行政運営 |
| 5 輸送機・新エネルギー・情報・医療分野等の成長分野への参入促進 | |
| 6 地域に根付く産業の振興 | |
| 7 企業誘致などの企業立地等の促進 | |

◆農林水産業の振興

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 8 農林水産業の多様な担い手の確保 | ◆健康づくりや医療・福祉の充実 |
| 9 スマート農業や環境保全型農業の普及と水田の大区画化の推進 | 30 健康寿命の延伸に向けた取組の推進 |
| 10 野菜や果樹、花き、畜産物等の生産拡大 | 31 医療提供体制の整備 |
| 11 サキホコレのブランド確立をはじめとした戦略的な米生産 | 32 介護・福祉サービスの充実 |
| 12 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備 | 33 自殺予防対策の推進 |
| 13 再造林の促進と林業・木材産業の振興 | 34 貧困や虐待等、複雑な事情を抱える子どもへの支援 |
| 14 安定的な漁業生産による水産業の発展 | 35 引きこもり状態にある人への支援 |
| 15 農山漁村での交流活動による活力向上 | |

◆観光・文化・スポーツの振興

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 16 国内外からの観光誘客の強化 | ◆教育・人づくり |
| 17 オリジナル商品の開発や販路拡大による食品産業の振興 | 36 ふるさと教育やキャリア教育の充実 |
| 18 文化芸術の担い手の確保と文化による振興 | 37 デジタル社会等に対応した専門教育の充実 |
| 19 スポーツの振興による地域の活力向上 | 38 学力向上に向けた取組の充実 |
| 20 鉄道や航空・地域交通などの整備 | 39 教員の指導力や学校施設など教育環境の整備 |
| 21 道路ネットワークの整備 | 40 英語教育と国際教育の充実 |

◆若者の定着や地域の活力維持

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 22 若者の移住促進や関係人口の拡大 | ◆安全・安心な生活環境の確保 |
| 23 高校生や大学生の県内就職の促進 | 44 災害リスクに対する防災・減災対策の推進 |
| 24 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備 | 45 地域防災活動の充実 |
| 25 女性の活躍推進や男女共同参画の推進 | 46 犯罪や交通事故の少ない地域づくり |
| | 47 食品や水道などの安全・安心の確保 |
| | 48 動物愛護活動の推進 |
| | 49 快適で安らげる生活基盤の整備 |
| | 50 自然環境保全対策の推進 |

問3 県の特定課題について、お伺いします。

以下の質問について、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

県の広報活動について

① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（○はいくつでも）。

- 1 県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等）
- 2 県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等）
- 3 県政広報番組（テレビ、ラジオ）
- 4 新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組
- 5 ソーシャルメディア（ブログ、ツイッター、フェイスブック、動画サイト 等）
- 6 その他（ ）

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ等による広報活動は十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 十分行われている | 2 ある程度行われている |
| 3 あまり行われていない | 4 行われていない |
| 5 どちらともいえない | |

家庭での防災活動について

① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 3日分以上の備蓄をしている | 2 備蓄はしているが、2日分以下である |
| 3 備蓄はしていない | |

② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域の防災訓練への参加 | 2 災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握 |
| 3 最寄りの緊急避難場所等の確認 | 4 緊急避難場所等への避難経路の確認 |
| 5 災害時の家族への連絡方法の取り決め | 6 非常時持ち出し品の用意 |
| 7 家具等の固定 | 8 その他（ ） |

読書活動について

① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注1）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注2）も含まれます。

（注1）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注2）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 好きだ | 2 どちらかといえば好きだ |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |

② あなたは1日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は1つ）。

※子どもへの読み聞かせ時間も含まれます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 2時間以上 | 2 1～2時間 |
| 3 30分～1時間 | 4 30分未満 |
| 5 全く読まない | |

がん対策について

① あなたは、日本人の2人に1人はがんになることを知っていますか（どちらかに○）。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

② あなたは、がんを早期に発見するためにはがん検診をどのように受ければよいと思いますか（○は1つ）。

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 定期的に受ける | 2 体調に心配があるときに受ける |
| 3 わからない | |

社会活動・地域活動について

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」（※）に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか（○は1つ）。

※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

- | | |
|-------------------|---------|
| 1 週5日以上 | 2 週1日程度 |
| 3 月1日程度 | 4 年1日程度 |
| 5 特定の期間（夏の間2週間など） | |
| 6 その他（具体的に | ） |
| 7 取り組んだことがない | |

文化芸術の鑑賞・活動について

- ① あなたは、ここ1年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡・民謡等） | 2 美術（絵画、写真、彫刻、現代アート等） |
| 3 演劇、舞踊（ミュージカル、日本舞踊等） | 4 伝統芸能、民俗芸能（歌舞伎、盆踊り、番楽等） |
| 5 映画（映画館等で上映） | 6 その他（ ） |
| 7 鑑賞していない | |

- ② あなたは、ここ1年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 芸術作品の創作・制作・実演 | 2 習いごと（音楽、舞踊、茶道等） |
| 3 地域の祭りや伝統行事への参加 | 4 文化芸術イベント等の開催・運営のための活動 |
| 5 その他（ ） | 6 活動していない |

自転車の安全で適正な利用について

- ① 自転車を利用している人にお聞きします。あなたは「自転車損害賠償責任保険等（※）」に加入していますか（〇は1つ）。

※自転車を運転中の事故により、他人にケガを負わせてしまった場合等に備える保険。

※自転車保険単独のもの、自動車保険・火災保険・傷害保険の特約として付いている個人賠償責任保険、共済、職場の団体保険、点検・整備を受けた自転車に貼られる「TSマーク」に付帯した保険等自転車を運転中の事故により、他人にケガを負わせてしまった場合に備える保険。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 加入している | 2 加入していない |
| 3 わからない | |

男女共同参画について

- ① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（〇は1つ）。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

環境保全活動について

① あなたは、これまで環境保全活動等に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

- | | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 環境美化・清掃活動への参加（例：市民クリーンアップなど） | |
| 2 | 自然保護活動への参加（例：ホタルの保護活動など） | |
| 3 | 森林保全活動への参加（例：市民植樹など） | |
| 4 | リサイクル活動への参加（例：古紙・空き缶回収など） | |
| 5 | 環境をテーマとした講演会等への参加（例：地球温暖化防止フォーラムなど） | |
| 6 | その他（ | ） |
| 7 | 参加したことがない | |

差別等について

① あなたは、ご自身や身の回りで、差別等を感じることはありますか（○は1つ）。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | よく感じることもある | 2 | たまに感じることもある |
| 3 | あまり感じることはない | 4 | まったく感じることはない |

② ①で「1」～「3」を選んだ方にお聞きします。どのような差別等を感じることはありますか（○はいくつでも）。

- | | | | | |
|----|-------------------------|----|--------------|---|
| 1 | 性別に関するもの | 2 | 障害を理由とするもの | |
| 3 | 感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの | 4 | がん等の疾病に関するもの | |
| 5 | 性的指向、性自認等を理由とするもの | 6 | 外国人に対するもの | |
| 7 | 年齢を理由とするもの | 8 | 犯罪被害者等に対するもの | |
| 9 | 犯罪をした人等に対するもの | 10 | ハラスメント | |
| 11 | いじめ | 12 | その他（ | ） |

高齢者の社会参加について

① 60歳以上の方（※）にお聞きします。あなたは、令和4年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

※60歳未満の方は次の質問に進んでください。

- | | | | |
|---|-----|---|--------|
| 1 | 行った | 2 | 行っていない |
|---|-----|---|--------|

問4 〔自由記述〕 県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。



©2015 秋田県んだッチ

問5 あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。
(最も近いと感じる選択肢の番号1つに○をつけてください。)

① あなたの性別

1 男性 2 女性 3 その他

② あなたの年齢

1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70 歳以上

③ 18歳未満の子どもの有無

1 現在18歳未満の子どものを養育している 2 していない

④ あなたのご出身

1 秋田県の出身 2 秋田県以外の出身

⑤ あなたのお住まいの地域

1 鹿角地域（鹿角市、小坂町）
2 北秋田地域（大館市、北秋田市、上小阿仁村）
3 山本地域（能代市、藤里町、三種町、八峰町）
4 秋田地域（秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村）
5 由利地域（由利本荘市、にかほ市） 6 仙北地域（大仙市、仙北市、美郷町）
7 平鹿地域（横手市） 8 雄勝地域（湯沢市、羽後町、東成瀬村）

⑥ あなたの主なお仕事の種類（主とする業種1つに○）

1 農業 2 林業 3 漁業 4 建設業 5 製造業 6 情報通信業
7 運輸業・郵便業 8 卸売業・小売業(観光関連) 9 卸売業・小売業(観光関連以外)
10 宿泊業 11 飲食サービス業 12 学術研究・学校教育・学習支援
13 医療・保健 14 福祉 15 公務（1～14以外） 16 その他の業種
17 学生 18 無職

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この調査票を三つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、6月2日(金)までに投函してください。